執筆対象メディア

- カウンセリングルーム：https://counseling-room.net/
    - メディアポリシー（着手前にご確認ください。）

企画・アウトライン・下書きへの着手例

（下記の書き方を参考にご記載ください。）

- カウンセリングルーム_パニック障害オンラインカウンセリング

※記事の完成例

- オンラインでパニック障害のカウンセリングを受ける全手順【効果から費用・おすすめ】

メインKW：検索Vol

- アロマセラピスト独立　10
    - アロマセラピスト独立年収　　10
    - アロマセラピストフリーランス　10
    - アロマセラピスト開業　30

企画

想定読者/検索意図（誰に向けた記事なのか/本KWで検索した意図を記載）

- 想定読者
    - フリーランスへの独立を検討しているアロマセラピスト
        - 独立できるか知りたい非アロマセラピスト
- 検索意図
    - なぜ「アロマセラピスト独立」と検索したのか
        - 独立できるイメージはあるが、具体的な手順がイメージできない
        - 独立が現実的なのかを把握した上で今後のキャリア（転職、独立、アロマセラピストになるかなど）を決めたい

記事を読んだ後の読者の状態

- アロマセラピストの独立方法・手順を知り、イメージが湧いている状態

タイトル（32文字以内）

- アロマセラピストがフリーランスへ独立するには？開業までの全手順

アウトライン

想定執筆文字数

- 序文：350文字以内
- h3があるh2の導入文：150文字以内
- h2見出し：350文字以内
- h3/h4見出し：300文字以内

- まとめ：200文字以内

- 序文
  - アロマセラピストが独立する、フリーランスとして活動することは可能である旨を述べておく
- ## アロマセラピストがフリーランスに独立する3つの方法
  - 各h3
    - 方法の概要、メリット・デメリット、おすすめ度合い、難易度など、方法の理解+方法を実行するのにイメージが湧くよう解説
  - ### 方法1：企業で働いた後に独立
  - ### 方法2：副業を経て独立
    - 知識等は講座で勉強
      - 内部リンク：https://counseling-room.net/1652/
  - ### 方法3：スクール経由で独立
    - 内部リンク：https://counseling-room.net/1532/
- ## アロマセラピストのフリーランス独立手順
  - 絶対こうしなければならないわけではない。推奨している手順として解説
  - ### STEP1：独立方法を決める
    - 前述した方法から取る手段を決める
  - ### STEP2：独立後の事業内容を明確にする
    - 明確する理由・しないことでの損失、方法などを解説
    - イメージが湧きやすいよう、フリーランス実例を具体例に挙げつつ解説
  - ### STEP3：集客の方法を具体化する
    - 具体化する理由・しないことでの損失、具体化の方法などを解説
    - イメージが湧きやすいよう、フリーランスセラピスト実例を具体例に挙げつつ解説
  - ### STEP4：必要な書類を揃える
    - 必要なもの、用意する理由・しないことでの損失、用意する方法などを解説
      - 開業届や青色申告承認申請などの概要、提出する意味・利点、方法などを解説
  - ### STEP5：独立後の活動環境を整える
    - 職業賠償責任保険への加入など
    - 必要なもの、用意する理由・しないことでの損失、用意する方法などを解説
- ## フリーランスアロマセラピストのリアル
  - 以下の現役フリーランスの方を例に挙げつつ、平均収入・やりがい・つらいことなどの観点でリアルを紹介
    - https://ameblo.jp/treatrip---aroma/entry-12838609156.html
- ## まとめ

下書き

執筆前に下記のご一読をお願いいたします。

- 執筆マニュアル
- レビューにて差し戻されるケース例

- カウンセリングルーム リンク集（執筆時にご活用ください。）
- 表記載に関する注意事項
  - 記号は半角表記に統一してください
    - OK例 ： / ~
    - NG例 ：／ 〜
  - 時間
    - 表記方法
      - OK例：9~18時、9時30分~18時
      - NG例：9時〜18時
    - 重複する内容は記載しないようにしてください。
      - OK例
        - 月~金曜:10~13時、14~18時30分
      - NG例
        - 月曜:10時〜13時、14時〜18時30分
        - 火曜:10時〜13時、14時〜18時30分
        - 木曜:10時〜13時、14時〜18時30分
        - 金曜:10時〜13時、14時〜18時30分
  - 住所は都道府県から記載
    - 「〒804-0061」といった郵便番号は記載しない

下記を意識しながら執筆いただくようお願いいたします。
（テキストリンクを開くと、実施理由の根拠となる参考記事を閲覧できます。）

1.専門用語は積極的に使用する	・医療分野の記事では「実際に医師が書いたかのような文章か（≒医師界隈でしか使わない用語を使ってるか）」が重要になるため ・補足説明を加える形で、専門用語を使いつつ想定読者の理解を促進することで、SEOで評価される可能性が高くなる
2.一次情報やエビデンスのあるデータのみを使用する	・解説の根拠には、科学的根拠に基づく情報や大学病院や第一線で研究に取り組んでいる医学者が発表している論文などを一次情報を活用する ・医者自身が発信している情報のなかにも独自の見解が含まれていることがあるため、必ず複数のソースを確認する
3.薬機法に抵触する誇大広告はしない	次のような薬機法（医薬品/医療機器等の品質/有効性及び安全性の確保等に関する法律）に抵触する誇大広告はしない ・虚偽(ウソ)の効果を書かない ・根拠のない効果を書かない ・断定的な表現をしない 医療広告ガイドライン(厚生労働省)
4.特定の医薬品を誹謗しない	厚生労働省の「医薬品等適正広告基準の解説及び留意事項等について」にて「医薬品等の品質、効能効果、安全性その他について、他社の製品を誹謗するような広告を行ってはならない。」と明記されているため
5.患者の主観による治療の内容や効果の口コミ/体験談は使用しない	・医療行為においてはUGC(口コミやSNSの投稿などユーザーが生成したコンテンツ)の活用が禁止されているから

ディスクリプション（100文字以内）

※ここに記載

フリーランスへの独立を検討するアロマセラピストは多いでしょう。計画しないまま独立の準備を始めてしまうと、後悔しかねません。本記事では方法を交え、アロマセラピストが独立する手順を解説します。

本文

※ここに記載

序文

「アロマセラピストが独立するには、どうすればいいんだろう？」
「フリーランスとして本当にやっていけるのかな…」

フリーランスへの独立に憧れを抱いているアロマセラピストは多いですよね。正しい手順で準備を進めれば、アロマセラピストとして独立するのは可能です。

しかし、独立までの計画がないまま始めてしまうと「もっと準備しておけばよかった…」と後悔しかねません。

そこで本記事では方法を交え、アロマセラピストが独立する手順をわかりやすく解説します。この記事を読めば、アロマセラピストとしての独立に向けた道のりが明確になりますよ。

この記事の要約

- アロマセラピストが独立するには就職や副業で始める方法がある
- 手順はまず独立後の事業内容を明確にし、集客方法を具体化する
- フリーランスのため収入の上限はないが、やりがい・つらさも伴う

アロマセラピストがフリーランスに独立する3つの方法

はじめにアロマセラピストがフリーランスに独立する方法を、3つにまとめて解説します。

- 方法**1**：企業で働いた後に独立
- 方法**2**：副業を経て独立
- 方法**3**：スクール経由で独立

方法1：企業で働いた後に独立

企業で働いた後に独立するメリット	・給与をもらいながら、実践的な技術や接客を学べる ・独立前に顧客との関係を築ける可能性がある
企業で働いた後に独立するデメリット	・独立までに時間がかかる ・企業のやり方が身につき、独自のサービス展開で戸惑う可能性がある
おすすめ度	★★★★★
難易度	★★☆☆☆

1つ目は、企業が運営するサロンで実務経験を積んでから独立する方法です。

メリットは、アロマセラピストとしての土台を固められる点です。企業に所属している期間に、施術の技術やお客様対応、店舗運営のノウハウを学べます。

現場でお客様と直接関わることで、どのようなサービスが求められているのか肌で感じられます。すでにお客様との信頼関係が築けていれば、独立後も指名客として来店してくれる可能性も高まるのです。

一方で、独立するまでに期間がかかる点はデメリットです。しかし、実践的なスキルと経験は独立後の活動を支える土台となります。

方法2:副業を経て独立

副業を経て独立するメリット	・経済的な不安が少なく、精神的な余裕を持って挑戦できる ・自分に適性があるか、活動しながら見極められる
副業を経て独立するデメリット	・本業との両立に時間管理の工夫が必要である ・本格的な集客活動がしにくいケースがある
おすすめ度	★★★★☆
難易度	★★★☆☆

2つ目は、仕事を続けながら副業でアロマセラピストを始める方法です。

本業の収入があるため、経済的な不安を感じることなく挑戦できるのがメリットです。週末だけ自宅サロンを開いたり、夜の時間帯に出張サービスをしたりと、自分のペースで実績を積めます。

実際に活動するとアロマセラピストが自分に合っているのか、また事業として成り立つのかを判断できるでしょう。

アロマの知識や技術は、通信講座を活用して身につけるのが効率的です。ただし、本業との両立には体力と時間管理が求められます。まずはスモールスタートで独立の可能性を探りたい方におすすめの方法です。

アロマセラピスト養成講座をより詳しく知りたい方は、下記の記事を参考にしてください。

アロマセラピスト養成講座おすすめ5選【口コミから厳選】| カウンセリングの相談室

方法3：スクール経由で独立

スクール経由で独立するメリット	・プロとして必要なスキルを体系的に学べる ・開業サポートを受けられるケースがある
スクール経由で独立するデメリット	・費用と時間がかかる ・実務経験がないため、開業当初の集客や運営で苦労する可能性がある
おすすめ度	★★★☆☆
難易度	★★★★☆

3つ目は、専門のスクールで知識と技術を習得し、卒業後にすぐ独立を目指す方法です。

メリットは、アロマの専門知識から実践的なトリートメント技術まで必要なスキルを学べる点です。スクールによっては、卒業後の開業サポート制度を設けているため、集客や経営に関するアドバイスを受けられます。

ただし、講座に比べて費用や期間がかかる傾向にあります。また、サロンでの実務経験がないまま始めるため、お客様とのコミュニケーションや集客活動で壁にぶつかるかもしれません。強い意志を持って挑戦したい方には、やりがいのある方法です。

アロマセラピスト養成スクールをより詳しく知りたい方は、下記の記事を参考にしてください。

アロマセラピスト養成スクールおすすめ4選【口コミから厳選】| カウンセリングの相談室

アロマセラピストのフリーランス独立手順

ここからはアロマセラピストのフリーランス独立手順を、5つのステップにまとめて解説します。

- **STEP1**：独立方法を決める
- **STEP2**：独立後の事業内容を明確にする
- **STEP3**：集客の方法を具体化する
- **STEP4**：必要な書類を揃える
- **STEP5**：独立後の活動環境を整える

なお、今回紹介する方法はあくまで本メディアで推奨する手順です。「必ず本手順で独立を進めなければならない」といったわけではない点を前提に、参考としてください。

STEP1：独立方法を決める

まず、アロマセラピストとしてフリーランスになるための独立方法を決めましょう。

前の章で解説した3つの方法の中から、自分の現在の状況やスキル、目標に合わせて最適なものを選んでください。

たとえば、未経験でできるだけ早く自分のサロンを持ちたい方は、スクール経由での独立が賢明です。一方で、安定した収入を確保しながら準備を進めたい方は、副業を経て独立するのが合います。

どの方法を選ぶかによって、準備の期間や内容が変わります。まずは自分の現在地を把握し無理のない計画を立てることが、アロマセラピスト独立を成功させるために必要です。

STEP2：独立後の事業内容を明確にする

独立方法の方向性が決まったら、次に事業内容を明確にしましょう。

まずは、誰に・何を・どのように提供するのか、下記のように考えてみてください。

- 誰に：都心で働く**30**代の女性
- 何を：心身の疲れを癒すリラクゼーション
- どのように：完全個室のプライベート空間で提供する

ターゲット顧客の他にも、メニュー内容や価格設定なども決めておきましょう。

フリーランスとして活躍するシュンさんは、お客様の状態に合わせて柔軟に施術内容を変更しています。カウンセリングで仕事や生活の状況まで聞き、適した施術を提供することで顧客満足度を高めているのです。

自分の理想とするサービスを具体的に描くことが、事業の核をつくる上で欠かせません。

STEP3：集客の方法を具体化する

事業内容が決まったら、どのようにしてお客様を集めるのか集客方法を具体化してください。集客方法には、次の手段があります。

- **Instagram**や**X**などの**SNS**を活用する
- **minimo**といった予約アプリに登録する
- チラシを作成してポスティングする

どの方法が最適かは、事業内容やターゲット顧客によって異なります。たとえば、若い世代をターゲットにするなら、SNSで発信しましょう。地域密着型のサロンであれば、チラシのポスティングが有効です。

シュンさんは、Instagramとminimoを活用して集客していました。また、別のセラピストは既存のリピーターに「毎回しっかり喜んでもらうこと」を最優先にしているそうです。

新規集客とリピーター獲得の両面から、自分に合う方法を考えていきましょう。

STEP4：必要な書類を揃える

フリーランスとして独立するためには、書類を提出する必要があります。

まず必要なのは「開業届」です。事業を始めたことを税務署に知らせる書類で、事業開始から1か月以内に提出するのが原則です。e-Taxから提出できるため、税務署まで提出しに行く必要はありません。



電子申告・納税等開始（変更等）届出書

出典：e-Tax

そして、開業届とあわせて提出したいのが「青色申告承認申請書」です。提出すると青色申告が可能になり、最大65万円の特別控除が受けられる優遇措置が適用されます。節税につながるため、必ず提出しておきましょう。



所得税の青色申告承認申請書

出典：国税庁

STEP5：独立後の活動環境を整える

最後に、独立後の活動環境を整えましょう。具体的には、下記の3つを行ってください。

- 活動の拠点を決める
- 備品を揃える
- 職業賠償責任保険に加入する

まず、活動の拠点となる場所を決めます。自宅の一室をサロンにするのか、レンタルサロンを借りるのか、事業計画に合わせて選んでください。

次に、トリートメントベッドやタオル、施術に使う精油など備品一式を揃えます。お客様に安心してサービスを受けてもらうため、質の良いものを選ぶのが賢明です。

そして「職業賠償責任保険」に加入しておきましょう。もし施術が原因でお客様に怪我をさせたり、お客様の持ち物を汚したりしたときの損害賠償を補償してくれます。保険に加入しておくことでトラブルから身を守り、日々の業務に集中できます。

フリーランスアロマセラピストのリアル

フリーランスの収入は、上限なく稼げる可能性があります。実際に、月80万円以上の収入を得ている方もいるのです。安定した収益を上げるためには施術スキルの他にも、集客や経営の知識が必要です。

やりがいについて、シュンさんは「毎日挑戦していく感覚がとても楽しい」と話します。新しいメニューの導入や価格設定など、すべて自分で決められる自由さが仕事の面白さにつながっているようです。

一方でつらいこととして、宮井リエさんは「営業が必要」と挙げています。集客活動やSNSの更新、施術以外の業務もすべて自分でやらなければなりません。収入が不安定になるリスクも常にあり、プレッシャーと向き合い続ける覚悟も必要です。

まとめ

アロマセラピストとして独立し、フリーランスとして活動することは可能です。そのために、計画と準備をしてから手順を踏んでいきましょう。

まずは「企業経験を積む」「副業から始める」「スクールで学ぶ」という方法から、自分に合う独立方法を見つけることからスタートしてください。

この記事を参考に、アロマセラピストとしての独立に向けた一歩を踏み出してみてください。

レビュー依頼を行う前に

レビュー依頼前に、下記のチェックをお願いいたします。
※行われていない場合は、レビュー前に戻させていただきます。

1. チェックリストを確認
2. コピーチェックを実施

1.チェックリストを確認
参照：ライティングマニュアル

	チェック内容	チェック ◯
1	公的リンクや公式サイトがテキストリンク化されていない	○
2	「です。ます。」調になっているか	○
3	「でしょう」が多用されている、「結論から書かれていない」など、解説内容が理解しづらい	○
4	3回以上、同じ語尾の文章が続いている	○
5	1文に同じ「助詞」が連続している	○
6	冗長な表現・記載が多い	○
7	1文が50文字以上、3つ以上の句読点がある	○
8	一文に複数の内容が解説されている(一文一意でない)	○
9	解説内容の理解を助ける具体例や具体名の明記が少ない	○
10	解説文が「書き言葉」ではなく「話し言葉」になっている	○

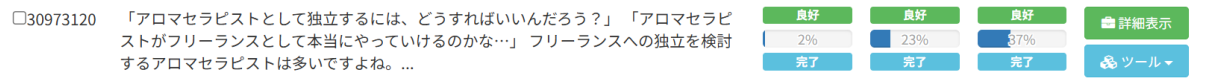
コピーチェックの実行

- コピペチェックツール

結果のスクショを貼り付けてください。
ex）



※ここに実行結果のスクショを貼り付け



コピペ率：23%